

令和6年度 指定管理者総合モニタリング評価表

施設名称	塩尻市地場産業振興センター		
所在地	塩尻市大字木曾平沢2272番地7		
指定管理者名	一般財団法人 塩尻・木曾地域地場産業振興センター		
指定期間	令和6年4月1日 ～ 令和11年3月31日（5年間のうち1年目）		
募集方法	非公募	施設担当課	商工観光部 商工課

1 業務実績（指定管理者）

当初計画	実 績
<p>【地場産業の振興に関する事業】</p> <p>1 地場産品の振興に関する事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販売ブースを各店舗ごとにレイアウトを変更し、当センターでの販売及び産地への誘導を図る。 <p>2 木曾漆器等伝統的工芸品の普及</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木曾漆器工業協同組合と共同で採択された企画展示場での展示により、木曾漆器等伝統工芸品の普及を図る。 <p>3 地場産品の普及および販路・需要の開拓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験学習受入件数 90件 ・利用者数（レジ通過客数） 50,000人 	<p>【地場産業の振興に関する事業】</p> <p>1 地場産品の振興に関する事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販売ブースを各店舗ごとにレイアウトを変更し、当センターでの販売及び産地への誘導を図った。 <p>2 木曾漆器等伝統的工芸品の普及</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木曾漆器工業協同組合と共同で採択された企画展示場で「つかう工芸」の展示により、木曾漆器等伝統的工芸品の普及の他、企画展示場を常時開放する等有効利用を図った。 <p>3 地場産品の普及および販路・需要の開拓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験学習受入件数 65件 ・利用者数（レジ通過客数）53,651人
<p>【施設維持管理】</p> <p>1 建物保守管理業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・構築物各部位の点検・保守 (屋根・外壁・建具・天井・内壁・床、階段等) <p>2 建物設備保守管理業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設備運転及び監視 ・消防設備点検 年2回 ・電気設備点検 年6回 ・地下タンク設備点検 年1回 <p>(機械設備、空調設備等は必要に応じて実施)</p> <p>3 備品等保守管理業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・備品台帳の確認・整備 <p>4 清掃業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間清掃日数 315日 	<p>【施設維持管理】</p> <p>1 建物保守管理業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・構築物各部位の点検・保守 随時実施 <p>2 建物設備保守管理業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設備運転及び監視 設備運転ごと実施 ・消防設備点検 年2回 ・電気設備点検 年6回 ・地下タンク設備点検 年1回 <p>(機械設備、空調設備等は必要に応じて実施した)</p> <p>3 備品等保守管理業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・備品台帳の確認・整備 随時実施 <p>4 清掃業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間清掃日数 313日

<ul style="list-style-type: none"> ・外構整備（草刈り等） 		<ul style="list-style-type: none"> ・外構整備（草刈り等） 適時実施 	
5 修繕業務		5 修繕業務	
<ul style="list-style-type: none"> ・修繕個所の確認及び修繕実施 		<ul style="list-style-type: none"> ・消防設備、ボイラー、トイレ等修繕 9件 ・修繕個所の確認及び修繕実施 随時実施 	
6 警備業務		6 警備業務	
<ul style="list-style-type: none"> ・年間警備日数（民間警備委託） 365日 		<ul style="list-style-type: none"> ・年間警備日数（民間警備委託） 365日 	
7 駐車場管理業務		7 駐車場管理業務	
<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場の安全確保・維持管理 		<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場の安全確保・維持管理 随時実施 	

8 除雪業務 ・敷地内除雪業務	・お盆期間中等民間警備委託 11日 8 除雪業務 ・敷地内除雪業務 積雪時実施
--------------------	---

2 施設の利用状況(指定管理者)

利用区分等	利用目標	今年度実績 (ア)	前年度実績 (イ)	対前年 (ア) / (イ)
開館日数	340日	337日	318日	106.0%
施設利用者数(木曾くらしの工芸館)	50,000人	53,651人	50,905人	105.4%
体験者数	2,000人	995人	1,151人	86.4%
オンラインショッピング売上	1,000,000円	551,819円	173,428円	318.2%
貸館利用日数	40日	1日	4日	25.0%

3 利用目標の達成状況に対する評価・分析(指定管理者、施設担当課)

指定管理者の 評価・分析	・MD計画に基づく季節ものの販売促進や、商品レイアウトの刷新等、経営改善で得たノウハウを活かし、利用者の増加及び収益の改善に努めた。特に、レイアウトについては、作り手が見える職人カードを設置することで、利用者の購買意欲の促進及び産地への誘客を図った。 ・HP、SNS等による情報発信を都度行い、来観客数の増加に努めた。また、R6よりHPを新たにリニューアルしたことにより、より見やすく、購入しやすいレイアウトに変更したことで、オンラインショッピングの利用向上に寄与した。
施設担当課の 評価・分析	・長野県内の伝統的工芸品を一堂に紹介する常設展示場「つかう工芸」を企画展示室内に8月にオープンし、施設利用者数目標値の達成の一助となった。 ・オンラインショッピング売上については、目標値は達成できなかったものの、HPリニューアルの成果もあり、昨年実績値より3倍の売り上げとなった。 ・体験者数と貸館利用日数の目標値については、昨年と比較し実績も横ばいであるため、現在の利用状況に合わせた、適切な目標設定が必要である。

4 収支状況(指定管理者)

(単位：円)

(税抜き表示)

	項目	当初計画	実績 (ア)	前年度実績 (イ)	(%) (ア) / (イ)
収 入	・ 指定管理料	10,910,000	10,909,092	12,727,274	85.7%
	・ 事業継続支援金	0	0	0	0.0%
	・ 使用料 (or 利用料)	58,000	5,163	6,263	82.4%
	・ 事業収入	129,954,000	139,701,276	132,498,976	105.4%
	・ 自主事業収入	39,584,000	36,492,736	9,685,132	376.8%
	・ 自主事業補助金収入	5,000,000	5,000,000	5,000,000	100.0%
	収入計 (A)	185,506,000	192,108,267	159,917,645	120.1%
支 出	・ 仕入原価	88,242,000	96,900,678	90,726,996	106.8%
	・ 外注費	16,900,000	12,622,753	1,747,600	722.3%
	・ 原材料費	215,000	51,727	3,000	1724.2%
	・ 給料手当	36,054,000	32,634,560	26,756,980	122.0%
	・ 臨時雇用賃金	1,562,000	3,225,271	3,070,880	105.0%
	・ 退職給付	720,000	480,000	488,000	98.4%
	・ 福利厚生費	5,164,000	5,361,928	4,578,326	117.1%
	・ 会議費	69,000	20,689	5,553	372.6%
	・ 旅費交通費	1,587,000	417,756	352,132	118.6%
	・ 通信運搬費	1,874,000	1,631,369	1,785,654	91.4%
	・ 消耗什器備品費	46,000	0	0	0.0%
	・ 消耗品費	2,116,000	2,406,821	1,776,964	135.4%
	・ 修繕費	1,819,000	527,800	1,298,636	40.6%
	・ 印刷製本費	570,000	333,670	230,400	144.8%
	・ 燃料費	2,485,000	2,363,233	1,881,395	125.6%
	・ 光熱水費	4,944,000	4,745,739	4,545,969	104.4%
	・ 賃借料	4,210,000	3,191,599	3,636,357	87.8%
	・ 保険料	1,404,000	1,322,768	1,236,185	107.0%
	・ 租税公課	779,000	1,260,353	1,259,098	100.1%
	・ 振興費	188,000	124,654	56,662	220.0%
	・ 負担金支出	717,000	626,750	1,454,433	43.1%
	・ 諸謝金	206,000	237,427	101,079	234.9%
	・ 委託費	10,473,000	16,603,610	9,973,471	166.5%
	・ 支払手数料	1,454,000	1,959,610	1,625,105	120.6%
・ 支払利息	72,000	0	44,013	0.0%	
・ 広報費	550,000	478,455	398,909	119.9%	
・ 雑費	96,000	48,666	29,944	162.5%	
	支出計 (B)	184,516,000	189,577,886	159,063,741	119.2%
	収支 (A) - (B)	990,000	2,530,381	853,904	

5 財務状況を示す指標（指定管理者）

指 標	当年度	前年度
自己資本比率（資本/資産×100）	73.3%	68.7%
負債比率（（流動負債+固定負債）/資本×100）	36.5%	45.6%
固定比率（固定資産/資本×100）	53.5%	55.8%
流動比率（流動資産/流動負債×100）	227.5%	197.0%
総資産経常比率（経常利益/総資産×100）	1.3%	-154.1%

6 職員の配置状況（指定管理者）

当初配置計画	配置実績
事務局長（統括責任者）1名、課長（店長）1名、係長1名（総務・会計1名）、パート5名、アルバイト2名、清掃2名	事務局長（統括責任者）1名、課長（店長）1名、係長1名（総務・会計1名）、パート4名、アルバイト2名、清掃2名

7 自主事業の状況（指定管理者）

当初計画	実 績
<p>【補助金等事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木曽漆器工業協同組合と共同で提案した、長野県伝統的工芸品・クラフト連携促進事業（長野県県民参加型予算）が採択されたことを受け、企画展示室での常設の他、伝統的工芸品とクラフトの交流の場の創出を図る。 ・インバウンドを含めた観光需要の増加に伴い、地域資源を活用した産業観光の需要拡大を目指し、地域観光新発見事業（観光庁）を申請する。 	<p>【補助金等事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長野県県民参加型予算が採択され、センター内企画展示室へ、県内伝統的工芸品の常設展示「つかう工芸」を設置したほか、伝統的工芸品とクラフトの交流の場の創出を図るため、例年行われる秋の漆器祭との共同開催で、「木曽オープンファクトリー「ヨヨヨイ!!!」-超工芸-」を開催した。 ・地域観光新発見事業（観光庁）は不採択であったが、地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値事業（観光庁）を活用し、来館者に快適に過ごしていただけるようにレストラン・カフェにエアコンを設置するなど、付加価値を高める改修工事を実施した。
<p>【PR・イベント事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNS等の情報発信を行う。 ・イベント等は有効性等を見極めた上で参加する。 ・施設内のイベント等は、長野県伝統的工芸品・クラフト連携促進事業の実施と合わせ、施設の有効活用を図る。 ・施設の広告宣伝や、地域内への誘客を図るように努める。 	<p>【PR・イベント事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNSを活用し情報発信を行った。また、よりよい情報発信をするべく、ホームページをリニューアルした。 ・外部イベントは有効性等を見極めた上で参加し、催事には2回出展した。 ・長野県伝統的工芸品・クラフト連携促進事業において、稼働率の低い企画展示室の有効利用を図った。 ・施設の広告宣伝や地域内への誘客のためメディアを活用するとともに、近隣の観光情報についてもパンフレットコーナーを設置してPRを実施した。
<p>【文化財修復等事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新日本様式100選にも選定されている「文化財保存修復の地場産業化プロジェクト」を継続し、木曽漆器産地における文化財修復事業の後継者育成、技術伝承、需要拡大を図る。 ・設計、施工業者などの人脈を主に情報交換を積極的に行い、受注確保へつなげる。 	<p>【文化財修復等事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木曽漆器の技術を活かし、文化財等の修復業務を実施した。年度当初は案件がなかったが、木曽漆器の実績が認められ、業界大手からの下請け案件として3件を受注した。 ・また、地域おこし協力隊として、後継者候補を1名受け入れ、指導を実施した。

8 評価（指定管理者、施設担当課）

評価点は5段階としており、仕様書・事業計画等に対する達成度から判断します。

例えば、計画どおりの達成度であれば評価点は「3」となります。

評価項目の性質で、付けることができる評価点が制限されている項目があります。

評価点	達成度
5	: 120 % 以上
4	: 101 ~ 119 %
3	: 81 ~ 100 %
2	: 61 ~ 80 %
1	: 0 ~ 60 %

(1) 実施体制に関する評価

評価項目	No.	評価基準	評価点									
			指定管理者					施設担当課				
施設運営状況	1	協定書等に従い、開館日や開館時間等を遵守しているか	1	-	③	-	-	1	-	③	-	-
	2	施設の目的が十分機能しているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	3	施設の利用者数や稼働率は適正か	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
危機管理体制	4	避難経路が適切に確保されている等、利用者の安全が確保されているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	5	危機管理に関するマニュアル等が整備され定期的に訓練等を行っているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	6	事故・災害等の緊急時の連絡体制は確立されているか	1	2	③	-	-	1	2	③	-	-
職員体制	7	仕様書等に従った人員(人数、有資格者)を配置しているか	1	-	③	-	-	1	-	③	-	-
	8	スタッフのシフトは適正であるか(労働基準法を遵守しているか)	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	9	事業計画書に則した教育・研修を実施したか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
記録・情報管理体制	10	業務日誌等を適切に作成・保管しているか	1	2	③	-	-	1	2	③	-	-
	11	協定書等で定められた事業計画書・報告書等を提出しているか	1	-	③	-	-	1	-	③	-	-
	12	情報公開に関する規定が整備されているか	①	-	3	-	-	①	-	3	-	-
	13	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表しているか	1	-	③	-	-	1	-	③	-	-
	14	個人情報保護に関する規定が整備されているか	1	-	③	-	-	1	-	③	-	-
	15	個人情報等の管理は適切か	1	2	③	-	-	1	2	③	-	-
	16	情報漏えいを防止する仕組みや対応策が講じられているか	1	2	③	-	-	1	2	③	-	-
(1) 評価点合計 (16項目)			46					46				

(2) 収支等の評価

評価項目	No.	評価基準	評価点									
			指定管理者					施設担当課				
経理状況	17	指定管理に関する経費と団体の経費を区別して、適正に管理しているか	1	②	3	-	-	1	②	3	-	-
	18	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理処理を行っているか	1	②	3	-	-	1	②	3	-	-
	19	収支計画書に則し、適正に予算を執行しているか	1	2	③	-	-	1	2	③	-	-
	20	利用料収入などの現金管理等が適切に実施されているか	1	-	③	-	-	1	-	③	-	-
収支状況	21	事業収支は妥当か	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	22	財務状況を示す指標の異常値、大幅な変動がないか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	23	計画どおりに経費節減の取り組みを行い、その効果があったか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	24	計画以外に経費節減に向けた取り組みを行い、その効果があったか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
(2) 評価点合計 (8項目)			22					22				

(3) サービス等の内容や水準に関する評価

評価項目	No.	評価基準	評価点									
			指定管理者					施設担当課				
利用者へのサービスの状況	25	施設の予約や利用等が、公平かつ適切に実施されているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	26	言葉づかい、態度、服装等の接遇は適切か	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	27	利用者アンケートを実施し、その結果は妥当か	①	2	3	-	-	①	2	3	-	-
	28	利用者からの意見や要望等について、可能なものは反映させているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	29	苦情や要望等に対して迅速かつ適切に対応しているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	30	施設のホームページは効果的に運用されているか	1	2	3	④	5	1	2	3	④	5
	31	利用方法をわかりやすく説明できる仕組みができていますか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
事業の実施状況	32	事業計画書に則し、指定管理事業を実施しているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	33	施設の目的に沿って、自主事業を実施しているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	34	各事業への参加や施設利用促進に向けた取り組みを積極的に行っているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
維持管理状況	35	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生の点検・管理を適切に行っているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	36	施設や設備の点検・管理を適切に行い、履歴を適切に整理・保管しているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	37	必要な修繕を適切に行い、市に報告しているか	1	2	③	-	-	1	2	③	-	-
	38	市と指定管理者の備品が明確に区別されており、台帳により適切に管理されているか	1	2	③	-	-	1	2	③	-	-
	39	外部委託内容は事前に市の承認を受けており、委託先に協定書等を遵守させているか	1	-	③	-	-	1	-	③	-	-
	40	省エネルギー、省資源等環境への配慮がされているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
	(3) 評価点合計 (16項目)			47					47			

※No.39は外部委託がある場合のみ評価する。

(評価点の総計)

評価点総計 (満点164点)	指定管理者	115点	70.1%	施設担当課	115点	70.1%

8 (総括) 評価に対する考え方 (指定管理者、施設担当課)

評価項目	評価項目No.とその評価点を付けた理由			
	No.	指定管理者	No.	施設担当課
(1) 実施体制	1 3	協定書及び仕様書に基づき、施設利用の利便性の向上及び利用者の安全確保に努めた。	3	体験者数や貸館利用者日数について向上されるような施策に期待したい。
	2 9	施設の目的を果たすため、木曾漆器等品物と作り手、産地を結ぶ役割を担えるような店舗づくりを図った。また、季節商品の配置など、店舗スタッフと共に行いスキルを教えながら、集客や売上の増加を図った。	5	令和6年度は、休館日を利用して避難訓練、消火訓練及び救命講習を実施されていた。不測の事態への対応のため、継続して実施してほしい。
	4 5	マニュアルの作成の確認及び、木曾消防署立ち合いのもと避難訓練・消火訓練・AEDの講習など行い、危機対応における訓練を行った。	12	情報公開に関する規定の整備をお願いしたい。
(2) 収支等の評価	18	指定管理料は、協定書等に基づき適正に利用しているが、固定費の引き落とし等があることから、専用口座にできない。	18	毎年度報告しているとおり、固定費等の管理の都合上、通帳は分けられないことは承知している。
	21	R5年度より文化財の案件を、今後3年間で3件の下請け案件を受け、工芸館単体でも黒字化できるように進めることで、収益の確保に務めた。	21	文化財修復事業による収益は、センターの健全な運営上、必要不可欠であると認識している。継続的な案件の確保がなされるような、体制の構築に期待したい。
	23 24	大規模改修の際に省エネ化を図り、かつ必要な修繕も行ったことで、固定費使用料の効率化を図った。	23 24	電灯やボイラー改修により固定費の削減が確認されているため、引き続き経費削減に取り組んでほしい。
(3) サービス等の内容や水準	32 35 36	事業計画に基づき、施設運営などの指定管理事業を適切に行っている。	27	利用者アンケートが未実施であるため、実施することにより利用者のニーズを確認してほしい。
	37	修繕は大規模改修も併せて関係各所と協議することで、予算執行を抑えつつ、必要なものについては市と協議の上行った。	30	HPは最新情報が随時更新され、各種SNSとも連動しているが、センターの取引先には、HP等を持たない事業者もいると推察されるので、SNSでの発信に期待したい。
	30	ホームページや各種SNSを活用し、工芸館の情報だけではなく、取引先を中心とした地域の情報発信にも努めた。	36	昨年、施設駐車場発生したトラブルについては、施設担当課への迅速な状況報告があり、担当課の的確な対応につながった。

9 総合評価（指定管理者、施設担当課）

指定管理者	<p>■自己評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（一社）長野県観光機構との経営改善で得たノウハウを活かし、利用者の増加及び収益の改善に努めた。また、有効活用が課題となっている企画展示室についても、長野県県民参加型予算を活用し、木曽漆器工業協同組合と連携し、長野県の伝統工芸品が一堂に会する場所「つかう工芸」として令和6年8月より常時開館している。 ・文化財修復等事業では業界大手からの施行協力を受け、R5年度より今後3年間で3件の下請け案件を受けている。
	<p>■今後の改善策（短期的に対応可能なもの）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物価高騰等による消費マインドの低迷の中ではあるが、利用者の増加及び収益の改善に引き続き努めていく。 ・文化財修復等事業では、継続的に施行できるように調整を進めていく。 ・長野県の県民参加型予算による施設の活性化による拠点整備として、県内伝統的工芸品の常設展示場設置を進めたが、販売に関する問合せもあり、検討を行っていく。
	<p>■今後の改善策（長期的に取り組むことで課題解決を図るもの）</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・センターの意義等を再構築し、木曽漆器工業協同組合など関係団体との協調を図る。 ・施設から産地へ、客を誘導できる導線になるような、拠点整備を行っていく。 ・夏季の気温上昇に伴い、木曾くらしの工芸館内の気温が高くなっており、繁忙期（夏季）の滞在時間等が短くなっているため、エアコンの設置等対策について、引き続き、確認を行っていく。
施設担当課	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度は、経営改善で得たノウハウを生かした店舗運営と、文化財修復事業の複数案件受注により、利用者増加と事業収入について、目標値及び当初計画を達成できた。 ・アンケート調査の未実施、情報公開規程の未整備については、昨年の指摘事項でもあるため、改善を強く求めたい。